

令和4年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

共生ホーム よかあんべ
始良市加治木町反土 2378
電話 0995-62-5820 fax0995-64-3888
<http://www.yokaanbe.com/>

- ◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)
- ◆外部評価
外部評価(地域かかわりシート②)・・・・・・(地②-1～6)
- ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	黒岩・苮口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	8人	1人	0人	13人

前回の改善計画	●その日初めて会ったご利用者へ、手を止め、目を合わせ、相手の名前を呼んで挨拶を交わし、相手の返事を待つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・自己紹介をしてから挨拶をすると笑顔が出てお話をすることができた。・出勤直後に一人ひとりに挨拶を交わすことができた。相手のお名前を呼んで、自己紹介できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	5	5	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	10	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	6	1	1	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	6	5	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・花を生けたりする中でご利用者が「私は池坊です」と発言あり、興味を聞き出すことができた。 ・名前を呼んで、自分自身を認識（目を合わせて）していただいたことを確認して挨拶を交わせた。 ・得られら情報は記録に残し、情報の連絡レベルを上げて共有することを心掛けた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・聞き出せた言葉からその後の展開ができなかった。また他のスタッフに相談することもできなかった。折角得た情報を流してしまった。・自ら情報を得ようとしていない。朝から直接接点のなかった通ってきているご利用者への挨拶ができていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
○その日初めて会ったご利用者へ、手を止めて、目を合わせ、相手の名前を呼び、自らの名前も名乗り、挨拶を交わす。 ○利用開始して間もない方には、他のご利用者への紹介もおこない、ご利用者、スタッフの名前が飛び交うようにする。 期間：通年	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	黒岩・苮口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	1人	7人	5人	13人

前回の改善計画	●“希望の木”を活用する。 ・「～したい」つぼみが貼りだされて1週間以内に実現に向けてのカンファレンスを実施する。 ・「実現までのプロセス」青りんご。プロセスの期間はカンファレンスで決める。 ・「～したいの実現」赤りんご。実現したらその人の“希望の木”と実現した写真を掲示する
前回の改善計画に対する取組み結果	・一人の～したいのつぼみについて、カンファレンスを開催することができたが、その後の実現への取り組みが具体的にならなかった。また、次の方に展開することが進めることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	4	8	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	7	6	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	8	1	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	1	8	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人の～したい（例えば：誰かのために〇〇したい）を理解し、よかあんべの中でご本人がしてくださることをできるように見守った。 ・お誕生日の企画でなかなかご自宅に帰れないご利用者の帰宅や、ご利用者の自宅の畑を活用し、野菜づくりができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者の「～したい」の実現に向けてカンファレンスが開催できていない。 ・実現のための具体的な行動がとれなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
○日常の「～したい」の実現のために、ご利用者から、よかあんべで～したい、～できるという言葉に耳を傾け、日々の活動、レクリエーションに実施につなげる。 ○事業所のボランティアさんにも協力を仰ぎ活動が行える。 ※集中努力実施期間：令和5年2月～4月	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
3. 日常生活の支援	メンバー	黒岩・苮口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	5人	6人	13人

前回の改善計画	● “暮らしのノート”（これまでの暮らし・今の暮らし・本人のこだわり・本人が望むこと・その人の暮らし地域・その他）を継続して、その人の事を知る。記録に落として、カンファレンスでまとめる。 ・カンファレンスは月2回、もしくは最低1回は実施する。勤務表作成時に前もって日にちは決める。 ・対象ご利用者は職員から知りたい方をあげて行う。まずはU様から実施する
前回の改善計画に対する取組み結果	・暮らしのノートについて、誰かの旗振り、アナウンスに頼るばかりで、スタッフがその認識をもって、取り組むことが難しかった。また、これは前年度からの取り組みでもあったが、情報がそのままに、カンファレンスへの活用も進まなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	1	8	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	9	2	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	3	10	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9	2	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	10	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の体調や心の変化は一早く気づけるように日々の関りを大切にしてその日のメンバーで共有した。・地域の情報を記録に残すことができた。・よかあんべでのお泊りが続いているご利用者の日常はよりよいものとなるよう支援できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・暮らしのノートの活用とカンファレンスの実施が進まなかった。暮らしのノートに情報は得たが、まとめる整理したり共有することができなかった。・ご利用者とのその場その場での「会話」だけで終わっていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○温かい食事をいただくことができる。 ①配食について、保温バッグなどの道具を検討し、温かいもの、冷たいものとわけて配食できるようにする。→同同人内の事業所の取り組みも参考にする。 ②ご利用者が食事の席についてから配膳できるようにする。→職員全員で現状、原因を整理し、目的を共有して改善していく。 ※集中努力実施期間：3ヶ月間	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	黒岩・笠口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	6人	4人	13人

前回の改善計画	●地域に出向いていく。 ・月2回のよかつどい体操（サンプレイ・3B体操）を萩原公民館で実施。移動は歩行、車椅子で行い、地域の方と会う機会を作る。 ・ご利用者と地域のゴミ拾いを日々の習慣にしてい（赤い浪漫ジャンパーを着用して！）
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナの発生から、萩原公民館への移動が難しい状況のまま、計画立てた公民館での開催というのもできなかった。しかし、法人のコロナのフェーズ表を基に、事業所での開催は状況をみて実施することができた。・赤いジャンパーを着てのゴミ拾いの習慣化は実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	7	4	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	5	7	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	8	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	5	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・3B体操をよかあんべのリビングで実施できた。・ビューティフル作戦の時にご利用者のご近所の方から自宅での生活時の様子を聞かせていただいた。・ご利用者と一緒に地域を歩くことができた。・庭で積み木のやすりがけをしたり、花をみたりして、地域の方と挨拶を交わすことができた。・ちょこっと新聞を直接地域の人に届けることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・よかつどいを公民館で実施することができなかった。・ご利用者との日々のゴミ拾いを習慣化することができなかった。・在宅での様子を知る事ができなかった。・自宅での過ごし方を把握していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○池田商店を活用し、地域の方とのつながりをつくりだせる行事計画を立てる。 ① 令和5年1月に写真展を開催/運営推進会議の開催 ② 令和5年3月職員会議において年間行事計画立案 ③ 月間カレンダーの作成→ 池田商店に掲示（地域の方へのアナウンス） ※取り組み期間：通年	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	黒岩・笠口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	6人	1人	13人

前回の改善計画	● “食” をテーマに！！ ・食を通して、“誰かのために” ご利用者がそれぞれ参加できる場面で、活動できる場を作り、一緒に楽しむ。 例：ご利用者の畑で野菜作りや収穫・献立を立てる・下ごしらえ・調理・味見等
前回の改善計画に対する取組み結果	・I様宅の活用していなかった畑を本人、家族と相談し野菜と一緒につくることができた。I様も収穫を特に喜ばれ、家族に事業所に持っていくんだと活き活きと活動する姿があった。これを、さらに他のご利用者、スタッフとも活動できるよう一連の過程でできることを再検討したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	3	9	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	6	2	2	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	5	3	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	0	11	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の自宅の畑に名前をつけて、一緒に野菜づくりを実施した。・収穫した野菜を使って調理をすることができた。・野菜作りの一連の過程の話をご利用者とすることができた。・ご利用者が食べやすい形状をご利用者から直接聞いて考えることができた。・自分から入浴希望があった方の要望に応じてお手伝いができた。・イベントでカフェをした際にご利用者に好きな物を選択していただくことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・収穫したが、一緒に調理をすることができなかった。・宿泊のニーズが発生した時に応えることができなかった。・畑に行くスタッフが限られた。・ご利用者と一緒に畑での野菜づくりに参加できなかった。・ご利用者の変化をミーティング等での共有ができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者とスタッフが一緒に畑で野菜を育て、収穫した食材を調理しみんなで美味しくいただく。 →年間の作物づくりのスケジュールカレンダーを作成する。 →岩城様宅のうるおい畑での作物づくりを継続する。 →食材は美味しくいただけるように工夫する。 ※集中努力実施期間：3月～5月	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
6. 連携・協働	メンバー	黒岩・苮口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0人	5人	8人	13人

前回の改善計画	●ともだち5人できるかな！？ ・地域の方を知り、マップ作りを行い、職員一人一人が把握できるようにする。 例：地域の方・行政の方・サービス機関・ご利用者を取り巻く地域資源等
前回の改善計画に対する取組み結果	・マップづくりの過程について、下地になるマップを準備し、目的までスタッフと共有したが、その後の情報をマップにおとしていく過程の実施ができなかった。また、マップの規模や、さらなる目的のすり合わせをしていく必要（課題）がみつかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	4	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	3	10	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	2	9	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	6	4	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の方にお会いしたら挨拶、会話（雑談）を交わすことができた。・地域の方に自己紹介できた。・加治木工業高校ラグビー部の生徒さんが挨拶にきてくれた。・地域で展開する認知症カフェに参加することができた。・サービス機関との連携は電話や文書で行えた。・ご利用者の主治医の顔を覚えることができた。 ・マップ作りの準備までは行えた。・自治会のグランドゴルフ参加した。・自治会のゴミステーションの草払いができた。・スクールガードで子供たちと歩くことで地域のことを知ることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の方と挨拶はするものの、それ以上のことを知ることはできていない。（よくお会いする方だけで終わってしまっている。）・マップに情報をのせることはできなかった。・地域の資源を活用するまで至っていない。・地域のイベントに参加することはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
○池田商店を地域との交流の場にする。（地域の方も池田商店を活用できる ※自由開放も含めて） →地域との交流の機会を生む場にするために何ができるか皆で話し合う。 →年間計画を立てる（4の改善計画と合わせる） →各行事ごとの企画、準備、実施を繰り返す。 期間：通年	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
7. 運営	メンバー	黒岩・苮口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	6人	2人	13人

前回の改善計画	●ご利用者の想いを知る為にも、まずは聞く姿勢を大切にする（腰を下ろす・目線を合わせる） ・みまもりあいの“ふくチャン”を活用する。まずは全職員が使えるようになる為に、カンファレンスの場を使って、学ぶ・触る！ ・実際にご利用者の声を録音して、想いを職員やご家族間で共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	・目標設定し開始後に集中的にみまもりあいアプリのケアチャンネルを活用することができて、数名のご利用者の生の声を収録することができた。機器とアプリの活用からスタッフ全員で取り組んだり、共有することが難しかったり、目的だけでなく、技術も必要であり少し敷居の高さを感じる取り組みでもあったと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	3	7	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	2	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	5	6	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	3	5	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者と話す時は腰を下ろし目線を合わせることができた。・みまもりあいアプリのケアチャンネルを活用し、ご利用者にインタビューをして声を残すことができた。・ご利用者と一緒に事業所前の交差点に立哨することができた。・みももりあいアプリを使った搜索訓練（ビューティフル作戦）を行えた。・冬の時期にイルミネーションをすることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・みまもりあいアプリのケアチャンネルの継続活用ができなかった。また、スタッフ全員での活用ができなかった。・ご利用者の横に座り話を聴くことができなかった。・みまもりあいアプリの活用方法がよくわかっていない。・ご家族からの意見を聞く機会があまりなかった。・地域の方との交流の機会がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
○ご利用者が安心して美味しく食事ができるように、昼食時に献立と食材のの説明、調理のポイント、調理スタッフの紹介をする。 →発表者は早出のスタッフが決定する。 →メニュー記載はホワイトボードを活用する。 →発表スタッフは食事の準備が整うまで席を立たない、離れない。 期間：2月～4月	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	黒岩・笠口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	6人	3人	1人	13人

前回の改善計画	●一人一人が興味のある事、スキルアップしたい事を共有するために、研修コーナーを作り “2022 わたしの研修目標”を貼りだす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修グループ担当者が中心に、事業所の一面に研修コーナーをつくることができた。スタッフ個々の目標も掲げ、スタッフ間で共有することはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	8	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	4	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	6	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・オンラインの研修に参加することができた。・職場内研修には参加することができた。・外部研修に参加することができた。・食事、入浴、乗降時に事故が起きないように注意している。・スタッフの目標を研修コーナーに掲示できた。・ケアマネ試験に受験できた。・車椅子駐車時の整理整頓に注意した。毎月の機関紙づくりができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・外部研修に参加できていない。・研修で学んだことを他のスタッフと共有できていない。・ヒヤリハットレポートを記載することができなかった。・自分の自己目標の達成ができなかった。・外部研修への参加の促しが限られたスタッフのみだった。・スキルアップの研修を自ら探すことはなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	（200字以内） ○ID0 オンライン研修の法定研修を全スタッフかならず、該当月に受講する。 ○全スタッフの目標（○○のピース）を研修コーナーに掲示する。 →研修グループが中心になり、2023年度の○○のピースを掲示する。そして見える化し、他のスタッフの目標を知り、お互いに目標設定に向けて協力し合うことができる。 集中努力実施期間：4月～6月
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月6日（19：30～21：00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	黒岩・笠口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永・松下・野元・益口・黒田・中村・（森）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	1人	1人	13人

前回の改善計画	●衣類管理方法の統一をする。ご利用者の衣類管理・押し入れの整理整頓・衣替えは受け持ち職員が責任を持って実施する。 ●ご利用者への排泄の声掛けは、声を掛ける場所や言葉の選び方、声のトーンに配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご自身で管理も難しいご利用者に代わって衣類や生理用品、他様々な物品について整理整頓する意識の高まりを感じることができた。その中でも、衣類の間違えや衣類の片方の紛失など生じているので、継続的な課題である。・排泄等の声掛けにも配慮することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	6	0	0	13
②	虐待は行われていない	8	5	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	9	2	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	2	6	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	9	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・担当のご利用者の衣替えが適切の実施できた。・下着類や生理用品の取り扱いに意識が高くなった。・入浴、排泄の介助の時にドアを閉めてプライバシー保護に注意できた。・身体拘束、虐待はしていない。・排泄、プライベートに関することは声のトーンを落として話げできた。・後見人との連携が図れた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・トイレの鍵をかけていないことがあった。・ノックをしないでドアを開けてしまうことがあった。・スタッフ同士で排泄の話を適切でない場所でしてしまう。・ノックはしたが、返事を待たずに開けてしまうことがあった。・もしかすると、言葉での心理的虐待があるかもしれない。・忙しさにかまけてご利用者に対して落ち着いた言動ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○押し入れやトイレのパット類を整理し、押し入れやトレイの扉を開けたら必ず閉める。 ○ご利用者への排泄の声掛けは、声をかける場所や言葉の選び方、声のトーンに配慮する。 ○ご利用者の衣類などを片付ける時には、必ず名前を確認して間違いのないようにする。記名のないものには適切な箇所に記入するよう配慮する。 期間：3ヶ月	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	15	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	15	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	14	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	15	0	0

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

・忙しい中よく取り組んでいらっしゃると思います。・職員全員が理想でしょうが難しいでしょうね。・事業所近くにフリースペースを確保するなど新しい取り組みを行っている点は素晴らしいと思っています。・素直な意見が反映されている。・新型コロナで行動が制限される中一所懸命取り組んでいることがよくわかります。・スタッフ全員真剣に事業に取り組んだ姿勢に敬意を表します。・忙しい業務を行いながらスタッフ全員で事業所の取り組みについて協議し、改善に向けて対応されているように感じます。・定期的にミーティングを開催されていて、皆で取り組んでいることが伺えます。

【前回の改善計画に対して意見】※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

・コロナ禍の中で頑張っている
・感染症の動向がよめない中で、できる範囲の改善に取り組んでいると思います。
・いろいろなことにチャレンジされていると思う。課題やできなかった要因に気づきがあるところを評価し拾い上げてほしい。
・全員が改善計画を意識しその改善に取り組んだ様子が見える。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

・可能な限りだと思います。
・「暮らしのノート」の内容がわかりませんので、今回の反省が次回迄の改善計画に反映されていることがわからない。計画を継続することと、見直すものがわかりません。
・3 日常生活の支援、7 運営の改善計画についての改善計画が「できていない点」の反省を踏まえた上での改善計画となっていないように見える。
・わかりやすく、具体的に計画されていると思います。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・職員各人評価をして努力している姿が見えます。
・全体評価なので私にはわからない部分が多いと思います。日々の生活支援で多忙な中、多くのことは「できている」と思います。
・計画の実現の為の具体化「いつ、どこで、誰が、何を、どうする」を更に進めたら、取り組みの「できている」の評価が増えていくことを感じました。

【改善計画】

○1～9 の改善計画と A～F の改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。
○改善計画の経過を会議メンバーに運営推進会議で報告できる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	15	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	14	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	13	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	15	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	15	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・雰囲気づくりはできている。
- ・垣根のない庭で行われる行事や利用者の食事やお茶の時間等の様子を見ることができ、利用者の穏やかな日常を垣間見ることができ、開放的な雰囲気が伝わる。
- ・特にありません
- ・不快な音や臭いは無い。
- ・玄関にカギはかかっていない。
- ・コロナ禍という状況でもできるだけ家族と過ごせる時間を確保しようという姿勢のもと運営がなされていることは高く評価される。
- ・玄関は開放的で訪問した時は明るく気持ちよく対応してくださっています。
- ・事業所は清潔でオープンで好感が持てます。
- ・コロナ禍で事業所に行かせていただく機会が少なく状況が把握できていないところもありますが、事業所の門は開いているので相談しやすく親しみの持てる環境になっている。
- ・カギはかけておらず、拘束等はないです。

【前回の改善計画】

- 運営推進会議の開催を公民館と事業所の庭を活用する。
- 外での活動を積極的に行い、出会った方と挨拶を交わす。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・事業所の庭、建物の横の手入れがされていて、四季折々の花々や野菜等が目を楽しませている。明るい雰囲気が大事だと思う。
- ・掲示板や入口の生花等も地域住民に親しみを持たせてくれている。

【今回の改善計画】

- 運営推進会議を毎月、池田商店・庭・事業所内での実施を検討し、事業所の環境を知る機会をつくる。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	15	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	15	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	12	0	3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	14	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	12	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の人と職員の方々全員が関わり合うことが難しいです。でも少しずつ努力していくしかない。
- ・挨拶はできている。・掲示板、地域回覧板を通して情報発信し認知度の向上に取り組んでいると思う。
- ・特にありません。
- ・利用者さんと近所を散歩されている職員の方々に声をかけると元気よく挨拶を返してください。
- ・職員の方々は明るく、朗らかで大きな声で挨拶をされ元気がでます。
- ・いろいろな年齢層の地域の方と行事を通じ交流されており、地域の拠り所となっていると思います。

【前回の改善計画】

○夕涼み会、ビューティフル作戦、夏休みの子供たちとの交流など今年も感染対策を講じながら開催できるように地域の方と相談しながら企画実行することができる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・池田商店の場所を利用することを考えたいと思います。例えば月1か2回お茶のみタイムを作るとか、小さいことから少しずつ交流が出来ればと思います。
- ・人参のお裾分け町内の方々がとても喜んでいました。
- ・利用者第一でスタッフに無理のない範囲で地域との関わりを続けていければと思います。
- ・池田商店を地域との交流の場として活用していこうという方針等地域と事業所を結びつける意識が非常に高い。このような活動は両者の理解を深め、利用者の心の安定、満足につながると思う。
- ・いつ、どういう取り組み、イベントに参加、企画されたのか、実績を記載頂けたら把握しやすいですね。
- ・利用者をつれて散歩する機会が増えているので、写真等で「スタッフさんの顔の見える化」をされたら如何でしょうか？

【改善計画】※後日記入

- 池田商店での行事計画を池田商店に掲示し、地域の方との交流の機会を活用できる。
- 運営推進会議で、年間の行事計画を紹介する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	15	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	13	2	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	11	0	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	14	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	10	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・利用者の方々が町内会会員と接触する機会をつくれない。
- ・上4については相談等があった場合、適切な対応がとれれば良いと思います。
- ・特にありません。
- ・ご利用者の手をつないで散歩される姿をよく見かけます。多忙な中にと敬意を表します。
- ・当会議を通じて利用者様が地域の方々と交流されているお話を聞き、事業所が地域で暮らす、本人の生活に寄り添っている取り組みは素晴らしいと感じています。

【前回の改善計画】

- 始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。
- 地域のご利用者の交流の機会を感染対策を講じながらスタッフも参加できるようにする。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・野菜作りをしたり料理をしたり買い物の介助をしたり給食の配膳とか工夫しておられる。
- ・利用者の暮らしを支える取り組みに対して上記の改善計画の文章がスタッフ主体になっているように感じる。
- ・行政や地域の者など「友だち5人できるかな」のスローガンのもと人間関係を広げようという試みは高く評価できる。良好な人間関係は幸福感の礎であると思う。
- ・ちょこっと新聞の出来がすばらしく、見やすいので地域の方にポスティング等でもお知らせしてはいかがでしょうか？

【改善計画】※後日記入

- 始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。
- ちょこっと新聞をご利用者と一緒に届ける。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	13	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	14	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	10	0	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	14	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	11	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・運営推進会議に出席して事業所のいろいろな取組がわかり利用者さんとの触れ合い状況等がよくわかり心強く思っています。

当会議が月一回開催され、地域の多様な方々が参加し情報共有の場になっていると思われる。

- ・毎回楽しみで参加しています。内容もわかりやすく、笑いもあり、楽しい会議です。
- ・お茶、自家製のお菓子をいつもありがとうございます。
- ・当会議で説明を受けてなんとか理解できています。需要と供給は？私には供給が不足しているように思えます。
- ・当会議では地域の方の出席者も多く、様々な事業所も出席されています。写真や動画なども取り入れ、事業所の取組み、利用者様への寄り添う思いが感じられ、充実した会議に感じています。

【前回の改善計画】

- 運営推進会議において、防災計画及びBCPを伝える機会をつくる。
- 運営推進会議メンバーへLINEを活用して状況を報告することができる。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・LINEグループの活用はとても良いです。
- ・いつも分かりやすく、お知らせして下さりありがとうございます。
- ・地域の様々な機関ともよく連携されているなといつも感じています。
- ・運営推進会議に参加された方が個々の情報をより発信することによって、より地域の方と共有化をはかってはいかがでしょうか？

【改善計画】

- 運営推進会議の参加者がより発言できるように会議の進行に配慮する。
- ビューティフル作戦、夕涼み会（音楽会）を地域の方と話し合いのもと開催できる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11	0	4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	1	7
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	12	0	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	9	5	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	10	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・まだよくわかりません。
- ・特にありません。
- ・参加してみたいという気持ちはありますが、参加日程等が把握できず参加した事はありません。
- ・平成23年8月普通救命講習を受講しましたが、一回だけで終わっています。
- ・今後、防災訓練に参加する機会があれば参加させていただきたいと思います。

【前回の改善計画】

- 年2回の防災訓練は運営推進会議メンバーとスタッフが協働して取り組めるように、計画する。
- 緊急避難時に、コロナ感染対策を行いながら受け入れができる体制を検討できる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・防災、災害時の事業所の対策を地域の人にも知ってもらったほうがよいのでは。
- ・防災計画を簡単に記載して頂くと防災計画を把握しやすいです。
- ・防災訓練（2回）は大事だと思います。

【改善計画】※後日記入

- 年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。
- 防災訓練には地域の方に参加をお願いします。
- 普通救急救命講習を地域の方と開催する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴	① 地域とのつながり（地域交流スペース、池田ベースの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア） ② 始良市認定「介護の相談 語らい処」の設置 ③ 子ども 110 番 ④ 始良っ子見守り隊参加 ⑤ 地域行事への参加 ⑥ ライフサポートプランの導入 ⑦ 認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス ⑧ 家族会の実施 ⑨ 社会貢献活動の受け入れ ⑩ 体操教室の開催（3 B 体操等） ⑪ 運営推進会議を毎月開催 ⑫ 住民協働のゴミ拾い活動の開催（加治木ビューティフル作戦） ⑬ 国分に同一法人の事業所があり、お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。 ⑭ 企業連携による積み木づくりプロジェクト実施 ⑮ offJT（IDO オンラインセミナー）OJT（事業所内研修）の連動した研修計画の実施 ⑯ 技能実習生の採用
事業所名	共生ホームよかあんべ	管理者	荳口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	社会福祉協議会	合計
	0 人	0 人	12 人	1 人	1 人	1 人	3 人	3 人	2 人	23 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○9 項目の改善計画が実行可能なものになるように検討する。さらに、2 か月程の間隔で進捗状況をモニタリングできるようにミーティングを開催する。 ○計画が一望できるように、シートにまとめて、掲示をする。 ○外部の方たち（地域の方々）にもわかりやすい内容になるようにする。	○改善計画のアセスメント、ミーティング、マップ作りなど具体的にしたにも関わらず目標達成することができなかった。 ○計画を一覧にすることはできた。 ○自分たちの言葉が地域の方と理解が揃うことは難しいことであつたと思う。	・「暮らしるノート」の内容がわかりませんので、今回の反省が次回迄の改善計画に反映されていることがわからない。計画を継続すること、見直すものがわかりません。 ・3 日日常生活の支援、7 運営の改善計画についての改善計画が「できていない点」の反省を踏まえた上での改善計画となっていないように見える。 ・わかりやすく、具体的に計画されていると思います。	○1～9 の改善計画と A～F の改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。 ○改善計画の経過を会議メンバーに運営推進会議で報告できる。

B. 事業所の しつらえ・環境	○運営推進会議の開催を公民館と事業所の庭を活用する。 ○外での活動を積極的に行い、出会った方と挨拶を交わす。	○コロナ禍で公民館での開催が難しい時は庭、または書面での開催になった。 ○挨拶は積極的にできていたと思う。	・垣根のない庭で行われる行事や利用者の食事やお茶の時間等の様子を見ることができ、利用者の穏やかな日常を垣間見ることができ、開放的な雰囲気が伝わる。 ・コロナ禍という状況でもできるだけ家族と過ごせる時間を確保しようという姿勢のもと運営がなされていることは高く評価される。 ・玄関は開放的で訪問した時は明るく気持ちよく対応してくださっています。 ・事業所は清潔でオープンで好感が持てます。 ・コロナ禍で事業所に行かせていただく機会が少なく状況が把握できていないところもありますが、事業所の門は開いているので相談しやすく親しみの持てる環境になっている。	○運営推進会議を毎月、池田商店・庭・事業所内での実施を検討し、事業所の環境を知る機会をつくる。
C. 事業所と地域のかかわり	○夕涼み会、ビューティフル作戦、夏休みの子供たちとの交流など今年も感染対策を講じながら開催できるように地域の方と相談しながら企画実行することができる。	○ビューティフル作戦を開催することができた。その中でも「みまもりあいアプリ」を活用して展開することができた。 ○夏休みの子どもたちとの交流の機会をつくりだせなかった。	・池田商店で例えば1か2回お茶のみタイムを作るとか、小さいことから少しずつ交流が出来れば。 ・利用者第一でスタッフに無理のない範囲で地域との関わりを続けていければと思います。 ・池田商店を地域との交流の場として活用していこうという方針等地域と事業所を結びつける意識が非常に高い。このような活動は両者の理解を深め、利用者の心の安定、満足につながると思う。 ・いつ、どういう取り組み、イベントに参加、企画されたのか、実績を記載頂けたら把握しやすいですね。 ・利用者をつれて散歩する機会が増えているので、写真等で「スタッフさんの顔の見える化」をされたら如何でしょうか？	○池田商店での行事計画を池田商店に掲示し、地域の方との交流の機会を活用できる。 ○運営推進会議で、年間の行事計画を紹介する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取り組み	○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。 ○地域のご利用者の交流の機会を感染対策を講じながらスタッフも参加できるようにする。	○スクールガードに上半期取り組むことができた。 ○グランドゴルフなど地域活動にスタッフは参加できたが、ご利用者と一緒に取り組めなかった。	・利用者の方々が町内会会員と接触する機会をつくれない。 ・ご利用者の手をつないで散歩される姿をよく見かけます。多忙な中にと敬意を表します。 ・当会議を通じて利用者様が地域の方々と交流されているお話を聞き、事業所が地域で暮らす、本人の生活に寄り添っている取り組みは素晴らしいと感じています。 ・野菜作りをしたり料理をしたり買い物の介助をしたり給食の配膳とか工夫しておられる。	○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。 ○ちょこっと新聞をご利用者と一緒に届ける。

			・利用者の暮らしを支える取り組みに対して上記の改善計画の文章がスタッフ主体になっているように感じる。 ・行政や地域の者など「友だち5人できるかな」のスローガンのもと人間関係を広げようという試みは高く評価できる。良好な人間関係は幸福の礎であると思う。 ・ちょこっと新聞の出来がすばらしく、見やすいので地域の方にポスティング等でもお知らせしてはいかがでしょうか？	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	○運営推進会議において、防災計画及びBCPを伝える機会をつくる。 ○運営推進会議メンバーへLINEを活用して状況を報告することができる。	○防災計画の公表ができなかった。 ○必要時（台風前など）にLINEグループで情報を共有できた。	・運営推進会議に出席して事業所のいろいろな取組がわかり利用者さんとの触れ合い状況等がよくわかり心強く思っています。当会議が月一回開催され、地域の多様な方々が参加し情報共有の場になっていると思われる。 ・当会議で説明を受けてなんとか理解できています。需要と供給は？私には供給が不足しているように思えます。 ・当会議では地域の方の出席者も多く、様々な事業所も出席されています。写真や動画なども取り入れ、事業所の取り組み、利用者様への寄り添う思いが感じられ、充実した会議になっていると感じています。 ・LINEグループの活用はとても良いです。 ・地域の様々な機関ともよく連携されているないつも感じています。 ・運営推進会議に参加された方が個々の情報をより発信することによって、より地域の方と共有化をはかってはいかがでしょうか？	○運営推進会議の参加者がより発言できるように会議の進行に配慮する。 ○ビューティフル作戦、夕涼み会（音楽会）を地域の方と話し合いのもと開催できる。
F. 事業所の 防災・災害対策	○年2回の防災訓練は運営推進会議メンバーとスタッフが協働して取り組めるように、計画する。 ○緊急避難時に、コロナ感染対策を行いながら受け入れができる体制を検討できる。	○防災訓練に運営推進会議メンバー（近隣のメンバー）に参加をお願いしご参加いただいた。 ○受け入れの情報発信はできたが、実際に避難受け入れはなかった。	・防災、災害時の事業所の対策を地域の人にも知ってもらったほうがよいのでは。 ・防災計画を簡単に記載して頂くと防災計画を把握しやすいです。 ・平成23年8月普通救命講習を受講しましたが、一回だけで終わっています。 ・今後、防災訓練に参加する機会があれば参加させていただきたいと思います。	○年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。 ○防災訓練には地域の方に参加をお願いします。 ○普通救命講習を地域の方と開催する。